

研究Ⅰ（１学期）

実施日時 毎週木曜日 7 限目

内 容 今年度は「厚みのある教養」を養うことを目標に、「移民受け入れの拡大に向けて」ディベート活動を行いました。その主な内容についてです。

4月18日 → 5月23日

ディベートのテーマである「移民の受け入れを拡大すべきである」について、各班で資料を読み込み、それを共有しました。その後、ディベートにおける「立論」とは何かを考え、KJ法を用いて様々な視点で「移民」に対する視野を広げました。



6月6日

本校の国際教養部の先輩によるディベートの映像を見て、実際のディベートはどのようなものかを学びました。その際、国際教養部の顧問である青木先生と三仙先生によるディベートへの取り組み方や考え方、気を付けるべきことなどを学びました。

6月13日 → 6月20日

期末考査後に行われるディベートに向けて、どの班も資料の準備や、立論の構成を行いました。

7月11日

別のクラスの班の生徒と実際にディベートを行いました。また、審査も経験することで、多くのことを経験することができたようです。



【生徒感想より】

- ・はじめはただ自分の意見を伝え合っただけだったけれど、相手にそれを伝えるためには、根拠や実際のデータを用いないと説得力をもたせることができないということが、ディベートを見ることで分かった。
- ・相手の意見を受けつけないのではなく、意見を尊重しつつ、1つの意見として考えることができるようになったと感じる。
- ・それぞれの役割があり、同じ班の人のために責任をもって、活動を行うことができた。